

庁議の概要

開催日 平成28年1月4日（月）

◎項目

1 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

◎内容

（冒頭）知事から以下のとおり話があった。

仕事始め式でも話したが、その中で特に部局長に5点お願いしたい。

1点目、悪い話ほど上に上がってくるような職場づくりを各部局でも心がけてほしい。また、その情報は速やかに副知事もしくは私に上げてほしい。この徹底をお願いしたい。

2点目、綱紀の粛正についても心がけてほしい。今後より官民協働が重要になってくるが、官民協働で公明正大に仕事をするのと癒着があるということとは、時に紙一重になりかねないことなので、コンプライアンス、倫理規定の遵守について、折にふれ説いてほしい。また、行き過ぎではないかと思える事例があれば早い段階で注意をしてほしい。

3点目、スクラップについて仕事始め式で述べたが、これは所属長でないとできないこと。政策やステージが大きく変わってきているので、スクラップするものは大いにスクラップを従前以上に徹底してほしい。予算の観点もあるが、職員の心身の健康を保ち、健全かつ創造性あふれる職場にしていく意義は非常に大きい。

4点目、全国区での視点について、視座を高くし、良き全国ネットワークの中に高知県を置いていくような取り組みをお願いしたい。

最後に、官のウエイトが高知県の中で大きくなってきているが、他方で、官の肥大による非効率も注意しておかないといけない。官民協働の中で民間活力のウエイトを上げていくという点は非常に重要。直轄でやっていたものを委託事業や補助事業に変えるなど、同じ官民協働でもだんだんとステージや意味合いが変わってくる。少し難しい間合いではあるが、お願いしたい。

1 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ 歴史をテーマとした博覧会について

（観光振興部）

来年3月の高知城歴史博物館のオープンに合わせ、そこから約2年間にわたって、歴史をテーマとした博覧会を予定している。これから各地域で歴史資源の磨き上げと観光クラスターの形成の取り組みを進めてもらうことになるため、まず1月7日に市町村の観光担当課や教育委員会、観光協会、広域観光組織、庁内関係課等に対し説明会を開催し、そこから具体的な作業に入っていく。磨き上げの計画自体は、エージェント向けのセールスに

間に合うよう本年9月までには取りまとめていく。教育委員会と文化生活部とも連携をとりしっかりやっていく。

○ フェリー「いしかり」の寄港について

(土木部)

年末年始の報告であるが、1月1日に、定員770名程のフェリー「いしかり」が高知新港に寄港し、日本人の観光客の方々が四万十川の遊覧船や、高知市内の観光など、いろいろなオプションツアーで来られた。県としても歓迎の式典等々を実施した。

○ 契約事務の見直しについて

(会計管理局)

監査からの指摘が依然として多い契約事務について、委託業務に係る標準契約書の見直しを進めている。できるだけミスが発生しにくく、かつ決裁者が内容をチェックしやすいスタイルへの改善を進めており、3月1日を目途に施行したい。また、収入や支出事務についても、ポイントを簡単に確認できるチェックシートを作成中であり、会計事務が忙しくなり始める3月上旬には配付したい。

今年も引き続き、さまざまな形で会計事務の支援をしたいと考えている。

○ 最後に知事から以下の点について話があった

(知事)

これから個別の課題に応じてプロジェクトチーム（PT）を組む機会が増えてくると思うので、より部局間の連携・協調をお願いしたい。具体的には、クラスター形成などで地域のクラスターごとに個別のプロジェクト管理をし、そのプロジェクトを推進するPTを組むことが非常に増えてくると思う。いろいろな形のPTを多く組むことになっていくと思う。より部局を超えた動きが活発化していく年になるので、よろしくをお願いしたい。